

陳情第159号	受理年月日	令和5年6月16日
付託委員会	総務財政委員会	
件名	半日制全寮制高等専門学校（仮）の開設推進について	
要旨	<p>近年、パパ活、ト一横キッズという話が社会現象となっている。一説によると、援助交際とほぼ同じ意味であり、その多くが金銭の援助を伴う交際であり、主に未成年の女子が行う売春だとされている。</p> <p>売春はやってはいけないはずだが、なぜするのかというと、その一部は、地元で親に虐待を受け、あるいは、いじめに遭い、繁華街に出てきて、生活と精神的安定のために行動しているという話がある。</p> <p>子供や成人して間もない者が社会で生きていくために必要なスキルを身につけるためには、支援が必要であることは言うまでもないが、その支援がうまくかみ合っていないのではないかと感じている。</p> <p>また、就労しながら勉強するスタイルは、過去より様々な方法で行われてきた。夜間学校はその一例であり、北九州市においても、夜間中学の開設が現在進んでいる。NHKの報道によれば、「国は様々な事情で十分な教育を受けられなかった人の学びの機会を保障するため」「外国籍の人を含む市内に住む16歳以上の人を対象」「授業料は無料で、オンラインも含めて平日5日間、1日4コマの授業を行う」とのことである。</p> <p>ただ、就業の合間で学びやすい、1日数時間程度の学業ができる高等教育の学校は減ってきているのではないかと思われる。その証拠として、北九州市立大学にはかつて文系に夜間があったが廃止となっている。</p> <p>これらを踏まえ、半日制全寮制高等専門学校（仮）の開設推進について、下記のとおり提案する。また、本提案について、国に意見書を提出するか、もしくは、市長の補足意見を付記した意見として提出していただきたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 路頭に迷う可能性のある学生を救済するため、原則、全寮制であること。なお、例外として別の場所（市営団地など）からの通学も認め</p>	

（続 く）

ること。

- 2 就労者が勉強するスタイルであるため、おおむね4時間で授業が完結すること。また、夜間就労する学生を想定した、おおむね10時から15時頃の運用や、昼間就労する学生を想定した、おおむね18時から23時頃の運用をすること。
- 3 短大もしくは大学程度の資格と能力を得ることができる学校であること。そのため、就業期間は、本科10年、専攻科4年とし、学費を抑えつつ学生に負荷をかけずに、就労等と学びを両立させやすい学校を目指すこと。
- 4 場合によっては、中学校も併設し、類似条件で学ばせることも検討すること。
- 5 特に、農業系、工業系、医療系といった理系を設置すること。また、海上保安・警察等の訓練校としての形態も検討すること。